

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式
キャリアデザイン学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～22	日 本 史	24～36
世 界 史	38～55	地 理	56～65
数 学	66～68		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 試験開始後の科目の変更は認めない。
4. 数学については以下の注意事項も参照すること。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

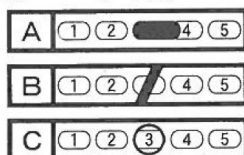
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎの文を読み、下記の問いに答えよ。

10年ほど前の SARS や近年の新型インフルエンザの問題は、医学が進歩した今日においてもなお、人類は新たなパンデミック(世界的流行病)への警戒を怠ってはならないことを教えている。ましてや、病原体も有効な治療法も分からなかった時代、疫病はつぎつぎに感染して無数の人命を奪った。

ヨーロッパでは前5世紀後半、との戦争に突入した翌年にアテネで発生した疫病が2年間にわたって猛威をふるい、アテネの指導者の生命をも奪って、戦争の行方に影響を及ぼした。当時のアテネ市内の惨状は、この戦争の歴史の科学的記述を残したにより、克明に記録されている。その惨状の中で病人を救うべく活躍したは、病状を正確に観察・記録して病因の科学的究明に努め、のちに「医学の父」と称されることになった。この疫病が何であったのかは特定できないが、残された病状記録から発疹チフスや天然痘などの説が出されている。ギリシア世界を征服したローマ帝国でもマルクス＝⁽¹⁾アウレリウス帝治下、⁽²⁾東方遠征軍が疫病を持ち帰り帝国内各地に蔓延させた。同帝の侍医であったなどが残した病状記録から、この疫病についても天然痘説が出されている。天然痘の原発地に関しては諸説あるがインド説が有力であり、⁽³⁾古代民族の移動交流路に沿って東西に伝播したと思われる。ただし、はつきり天然痘と特定できるのは、中国では5世紀末の「虜瘡」が最初と言われ、ヨーロッパでは⁽⁴⁾11～12世紀以降のことになる。天然痘については、16世紀にスペイン人征服者らが麻疹など他の病原菌とともにアメリカ大陸に持ち込み、免疫を持たなかったインディオの人口を激減させたことも忘れてはならない。⁽⁵⁾

一方、⁽⁶⁾542年頃コンスタンティノープルを襲い、ヨーロッパ各地で6世紀末まで猛威をふるった疫病は、当時の歴史家が克明に記録した症状から、明らかにペストと確認しうる。その後ペストは散発的な流行を経て、14世紀の「黒死病」の大流行に至ることになる。ある⁽⁷⁾フランチェスコ修道会士は、1347年シチリア北部の

港に入ったジェノヴァ船がもたらした疫病が、またたくまに全島に蔓延するさまや人々の恐怖を記している。⁽⁸⁾1330年代に中国あるいは南ロシアで発生したペストが東西交易路に乗ってコンスタンティノープルに達し、ヨーロッパに侵入してきたのであった。海路からイタリア・フランスに上陸したペストは、⁽⁹⁾1348年には西欧各地に広がった。当時のフィレンツェで が著した風刺的短編小説集『』は、ペストに襲われた同市の惨状やペストの症状を詳細に描写し、ペスト史料としても価値が高い。末期の病状ゆえに「黒死病」と恐れられたこのペストの大流行は、ユダヤ人が病毒をまいたという流言を生み、スペインをはじめ各地でユダヤ人が虐殺される悲劇も招いた。ペストはその後小流行を繰り返すが、⁽¹¹⁾1665年ロンドンでの大流行を最後に、18世紀以降はかなり局地的・散発的になっていく。だが14～17世紀の西欧社会はつねにペストの影に怯え、その恐怖心が中世末期から近代初期にかけて「死の芸術」を開花させた。⁽¹³⁾エラスムスやヘンリ8世の肖像画で有名な が1538年に出版した木版画集『死の舞踏』⁽¹⁴⁾のように、死をモチーフにした文学や造形美術が各地で生み出されたのである。

問1 文中の空欄 ～ に最も適する語を下記の語群からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。解答方法は以下同じ。

〔語 群〕

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| 1 アリスタルコス | 2 エピクテトス | 3 ガルガンチュア物語 |
| 4 ガレノス | 5 カンタベリ物語 | 6 クラナハ |
| 7 クレイステネス | 8 ストラボン | 9 スパルタ |
| 10 セルバンテス | 11 デカメロン | 12 テーベ |
| 13 テミストクレス | 14 デモクリトス | 15 デューラー |
| 16 トウキディデス | 17 ヒッポクラテス | 18 ペリクレス |
| 19 ペルシア | 20 ヘロドトス | 21 ボッカチオ |
| 22 ポリビオス | 23 ホルバイン | 24 ラブレール |

問2 下線部(1)について。つぎの1～4のうち、この皇帝について述べた文章として正しいものを全て選べ。

- 1 ゼノンが創始した哲学を学び、『自省録』を著した。
- 2 プロティノスが創始した哲学を学び、『自省録』を著した。
- 3 ダキア(現在のルーマニア)を併合し、ドナウ北岸の地にはじめて属州を置いた。
- 4 ブリタニアに長城を築くなどして、辺境防衛に力を入れた。

問3 下線部(2)について。当時、メソポタミア地方でローマと抗争を続けていた王朝の始祖は、つぎの1～4のうち誰か。

- | | |
|------------|-----------|
| 1 アケメネス | 2 アルサケス |
| 3 アルダシール1世 | 4 アンティゴノス |

問4 下線部(3)について。最も古くから遊牧民の移動・文化交流の足跡を残しているのは、南ロシアからモンゴル高原にかけての大ステップ地帯を貫くルートであるが、前6世紀～前4世紀に南ロシア一帯に強大な遊牧国家を建設した騎馬遊牧民は、つぎの1～4のうちどれか。

- | | | | |
|--------|------|--------|-------|
| 1 エフタル | 2 匈奴 | 3 スキタイ | 4 ソグド |
|--------|------|--------|-------|

問5 下線部(4)について。この時期、天然痘はとくに十字軍の移動によって流行が広がった。つぎの1～4のうち、この時期の十字軍について述べた文章として正しいものを一つ選べ。

- 1 第1回十字軍派遣の一因は、アイユーブ朝に小アジアを奪われた東ローマ帝国からの救援要請であった。
- 2 第1回十字軍の派遣は、11世紀末にローマ教皇ウルバヌス2世が招集したラテラノ公会議で決定された。
- 3 第1回十字軍は聖地イェルサレムの回復には成功しなかったが、そのことがかえって西欧各地で宗教的熱狂を高める結果となった。
- 4 12世紀末近くの第3回十字軍には、神聖ローマ皇帝フリードリヒ1世、フランス王フィリップ2世、イギリス王リチャード1世が参加した。

問6 下線部(5)について。スペイン人による強制労働も、インディオの人口激減の一因であった。つぎの1～4のうち、16世紀のインディオの状況について述べた文章として誤っているものを一つ選べ。

- 1 ポトシ銀山で、苛酷な労働条件のもとに酷使された。
- 2 アシエンダ制と言われる大農園制のもと、黒人とともに小作人や債務奴隷として使役された。
- 3 スペイン国王が有力移住者に対し、インディオをキリスト教徒化させることを条件に、労働者として使役することを認めたエンコミエンダ制のもと、奴隷同然に酷使された。
- 4 ドミニコ派修道士ラス＝カサスはインディオの悲惨な状況をスペイン国王に報告し、スペインによる征服戦争やインディオ酷使を厳しく批判した。

問7 下線部(6)について。つぎの1～4のうち、この当時の東ローマ皇帝について述べた文章として誤っているものを一つ選べ。

- 1 コンスタンティノーブルにハギア＝ソフィア聖堂を建てた。
- 2 法学者トリボニアヌスに命じて『ローマ法大全』を編纂させた。
- 3 中国から蚕卵を得て絹織物業を興し、国内の基幹産業の一つに育てた。
- 4 ササン朝ペルシアのシャープール1世と抗争した。

問8 下線部(7)について。つぎの1～4のうち、この修道会について述べた文章として正しいものを一つ選べ。

- 1 11世紀以来、教会刷新運動の中心となり、教皇グレゴリウス7世の改革にも影響を与えた。
- 2 11世紀末の創立で、「祈り、かつ働け」をモットーとし、修道士は瞑想のほか、農耕や開墾など生産活動にも従事した。
- 3 13世紀初頭の創立で、キリストの清貧にならって財の所有を否定し、都市での説教活動を重んじた、托鉢修道会の一つである。
- 4 13世紀前半の創立で、南仏のカタリ派など異端への攻撃に力を注ぎ、神学研究の面でも大きな役割を果たした。

問9 下線部(8)について。この港市と13～14世紀に地中海の覇権を争い、その繁栄ぶりが「アドリア海の女王」とたたえられたのは、つぎの1～4のうちどれか。

- | | |
|----------|-------|
| 1 ヴェネツィア | 2 ナポリ |
| 3 ピサ | 4 ミラノ |

問10 下線部(9)について。1330年代の中国は元朝の支配下にあった。つぎの1～4のうち、元の中国支配について述べた文章として正しいものを一つ選べ。

- 1 モンゴル人第一主義をとり、モンゴル人が文武の高官を独占したが、元朝が滅ぼした南宋治下にあった漢民族を、モンゴル人について優遇した。
- 2 交鈔という紙幣が主要通貨となり広く流通したが、のちに濫発され、経済混乱の原因となった。
- 3 南宋以来民間に広がった宗教結社である白蓮教が、邪教として徹底的に弾圧されて消滅した。
- 4 ローマ教皇が派遣したモンテ＝コルヴィノが初代大都司教に任命されたが、その数年後にはカトリックも邪教として弾圧された。

問11 下線部(10)について。つぎの1～4のうち、当時の西欧の状況を述べた文章として正しいものを一つ選べ。

- 1 10年ほど前に百年戦争が勃発し、フランス軍が優勢を続けていた。
- 2 教皇庁がフランス王権の圧力でアヴィニョンに移転させられていた。
- 3 神聖ローマ帝国ではシュタウフェン朝断絶後、「大空位時代」と呼ばれる事実上の無皇帝状態が続いていた。
- 4 イングランド王エドワード1世が模範議会を開催した。

問12 下線部(11)について。つぎの1～4のうち、中世ヨーロッパにおけるユダヤ教徒について述べた文章として誤っているものを一つ選べ。

- 1 ユダヤ教徒は「キリスト殺しの民」として、中世初期からゲッソーと呼ばれる強制居住区に隔離され、一貫して激しい迫害を受け続けた。
- 2 ユダヤ教徒への迫害が激化するの是一般に、宗教的熱狂を煽り立てる十字軍運動以降のことであった。
- 3 スペインでは、レコンキスタの進展に伴いユダヤ教徒への迫害も激化し、やむなくユダヤ教からカトリックに改宗した者は「マラーノ(豚)」という蔑称で呼ばれた。
- 4 商業や金融業に従事するユダヤ教徒が多かったことも、キリスト教徒の憎悪を招く一因であった。

問13 下線部(12)について。この大流行の様子を、1722年刊行の『疫病年の記録(ペスト)』という作品で描いた人物は、その数年前に発表した孤島漂流記の形をとった小説で名高い。この人物はつぎの1～4のうち誰か。

- 1 スウィフト
- 2 デフォー
- 3 バンヤン
- 4 ミルトン

問14 下線部(13)について。ペストへの恐怖は20世紀に入ってもなお人々の心を捉えていた。ペスト発生を背景に人間存在の不条理と反抗を描く小説『ペスト』を1947年に発表したフランスの作家は、つぎの1～4のうち誰か。

- 1 カフカ
- 2 カミュ
- 3 サルトル
- 4 ロマン＝ロラン

問15 下線部(4)について。つぎの1～4のうち、このイギリス王について述べた文章として正しいものを一つ選べ。

- 1 バラ戦争を終結させ、国王直属の星室庁裁判所を設立するなどして、イギリス絶対王政の基礎を築いた。
- 2 最初の王妃との離婚問題でローマ教皇と対立し、統一法を制定してイギリス国教会を誕生させた。
- 3 イタリア戦争ではフランスを支援し、フランス王アンリ2世、スペイン王フェリペ2世との間でカトー・カンブレジ条約を締結した。
- 4 トマス＝モアを大法官に登用したが、最初の王妃との離婚などに反対されたため、これを処刑した。

- 〔Ⅱ〕 つぎのア～オの史料は、第二次世界大戦から冷戦、多極化に向かう国際社会の流れの中で起きた出来事に関わるものである。それぞれの史料を読んで、関連する問いに答えよ。なお、語群A・Bはこの問題の末尾にある。

史料ア 以下の文章は、アメリカ合衆国大統領が連邦議会の上下院合同会議で行った演説の一部である。この史料を読んで問1～問3に答えよ。

合衆国は、ギリシア政府から財政的・経済的支援を求める緊急要請を受け取った。民主主義ギリシアが頼れるのは合衆国を除いて他にない。事態は直ちに行動を要する緊急なものである。そして国連とその関係機関はこの種の援助を行う立場にはない。

(『国際関係資料集第2版』, 法律文化社, 1997年, 18頁。表記を一部修正)

- 問1 この演説を行った大統領は誰か。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- 問2 この演説ではギリシア以外にもう一ヵ国への支援について触れられている。その国を語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問3 この演説の数ヵ月後、アメリカ合衆国はヨーロッパを支援し、同時に冷戦における西側陣営の確立に向けた計画を発表した。つぎの a～e に挙げる演説や宣言文や条約文のうち、この計画に直接関係するものはどれか。最も適当なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とにおいて平等である。
- b バルト海のシュチェチンからアドリア海のトリエステまで、大陸を横切って鉄のカーテンがおろされている。このカーテンの背後には、中部および東部ヨーロッパの古くからの首都がある。
- c ヨーロッパの復興に何が必要であるかを考える場合に、生命の損失、都市・工業・鉱山・鉄道の目に見える破壊は正確に確定されたが、これらの目に見える破壊に比べて、ヨーロッパ経済の構造全体の混乱の方が一層重大であることが、最近数ヶ月の間に明らかになった。
- d 人は、持続可能な開発を考える際の中心に位置する。人は、自然と調和しつつ、健康で生産的な生活を営む権利を有する。
- e この条約は、欧州諸国民間に不断に緊密さを増す連合を創設する過程の新たな段階を画するものであり、連合の決定は、市民に対し可能な限り開かれた形で、かつ、可能な限り市民に近いところで行われる。

史料イ 以下の文章は、ニューファンドランド島沖の大西洋上で行われた会談で出された宣言文の一部である。この史料を読んで問4～問6に答えよ。

第4項 両国は、現存する義務に対して正当な尊重を払いつつ、大国たると小国たるとを問わず戦勝国たると敗戦国たるとを問わず、すべての国に対して、その経済的繁栄に必要な世界の通商および原料の均等な開放がなされるよう希望する。

第5項 両国は、改善された労働条件、経済的進歩および社会保障をすべての者に確保するため、すべての国の間の、経済的分野における完全な協力をつくりだすことを希望する。

(『国際関係資料集第2版』, 法律文化社, 1997年, 5頁。)

問4 この史料にある「両国」の国名を語群Aから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問5 「両国」の代表者はそれぞれ誰であったか。語群Bから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問6 つぎのa～eのうち、ここに挙げた第4項と第5項をもとに設立された二つの国際機関のどちらか一方、もしくは双方について述べた文として適当でないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 設立してすぐにヨーロッパの戦後復興から発展途上国などの開発支援に活動の中心を移した。
- b 設立を決めた国際会議が開かれたアメリカ合衆国の地名にちなんで「ブレトン＝ウッズ体制」と呼ばれる。
- c 世界の金の7割を保有していたアメリカ合衆国の通貨ドルを基軸通貨としたため、アメリカの経済的覇権の象徴となった。
- d アメリカ合衆国のベトナム戦争への戦費増大などが引き金となって大きな転換を余儀なくされた。
- e 加盟国域内の関税の相互引き下げや資本の自由化が進められ、ヨーロッパの統合への足がかりとなった。

史料ウ 以下の文章は、アメリカ合衆国大統領が放送を通じて行った演説の一部である。この史料を読んで問7～問9に答えよ。

過去1週間以内に、動かしがたい証拠によって、一連の攻撃用ミサイル基地が、現在、あの孤立した島に準備されつつあるという事実が確認された。これらの基地の目的は、西半球に対する核攻撃力を確保する以外の何ものでもない。

(『国際関係資料集第2版』, 法律文化社, 1997年, 26頁。)

問7 下線部の「あの孤立した島」は、具体的にどの国を指すか。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問8 この演説を行ったアメリカ大統領は誰か。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問9 この演説が示す国際的な事件の結果として、アメリカ合衆国はどのような行動をとったか。つぎのa～eのうち最も適当なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a サミット(先進国首脳会議)の開催
- b ソヴィエト連邦との間の直通回線の設置
- c 黒人差別の撤廃を目指す公民権法の成立
- d ソヴィエト連邦との戦略兵器削減交渉の開始
- e ベトナム戦争への本格的な介入

史料エ 以下の文章は、29カ国が参加して初めて開催されたアジア・アフリカ会議で出された声明の一部である。この史料を読んで問10～問12に答えよ。

アジア・アフリカ会議は、これらの原則に従った友好的協力は、国際の平和と安全の維持・増進に大いに貢献するとの確信を宣言し、経済・文化・社会の分野での協力は、すべての共通の繁栄と安寧を招来するに役立つとの確信を宣言する。

(『国際関係資料集第2版』，法律文化社，1997年，97-98頁。)

問10 この声明が出された第一回アジア・アフリカ会議が開かれた国はどこか。語群Aから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問11 つぎのa～eのうち、下線部の「これらの原則」に含まれないものはどれか。

最も適当なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 基本的人権の尊重
- b 持続可能な開発の推進
- c 国家の主権と領土保全の尊重
- d すべての人種および諸国民の平等
- e 平和的手段による国際紛争の解決

問12 アジア・アフリカ会議は、冷戦の中で東西どちらの陣営にも属さない第三勢力の形成を目指した動きの一つである。第三勢力の形成と変容に関わるつぎのa～eの事項のうち、第一回アジア・アフリカ会議より前に行われたものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 第一回非同盟諸国首脳会議
- b アフリカ統一機構(OAU)の結成
- c 平和五原則の発表
- d 中印国境紛争
- e カストロが指導したキューバ革命

史料オ 以下の文章は、「ある国」の指導者に対する批判を記した報告文の一部である。この史料を読んで問13～問15に答えよ。

同志諸君！ 個人崇拜は、このような恐るべき状態に達していたのである。そしてその第一の原因は、(A)自身が、考えられるすべての方法によって、彼自身の人格の賛美を奨励したからである。このことは無数の事実によって裏付けられる。…いつ、どこに、これほど自分を賛美した指導者がいだろうか。このようなことが、マルクス・レーニン主義的な指導者にとって相応しいことだろうか。

(『新訳世界史史料・名言集』, 山川出版社, 2006年, 157頁。)

問13 史料中の(A)に入る人物は誰か。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問14 この批判を行った人物は誰か。語群Bから選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問15 つぎのa～eのうち、この批判の前後で「ある国」が行った政策として適当でないものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a コミンフォルムの解散
- b ユーゴスラビアとの和解
- c ハンガリーの社会主義体制からの離脱を容認
- d 社会主義国と資本主義国の平和共存
- e 米英仏の首脳とジュネーブで会談

問16 第二次世界大戦後の国際政治の変化を念頭に置きながら、史料ア～オの出来事を古い順に並べた場合、(1)2番目に古い史料と、(2)最も新しい史料はどれか。つぎのa～eのうち、それぞれに該当するものの記号を解答欄にマークせよ。

a 史料ア b 史料イ c 史料ウ d 史料エ e 史料オ

〔語群A〕

- | | | | | | |
|----|------|----|---------|----|---------|
| 1 | アメリカ | 2 | イギリス | 3 | イスラエル |
| 4 | イタリア | 5 | インドネシア | 6 | エジプト |
| 7 | キューバ | 8 | スリランカ | 9 | ソヴィエト連邦 |
| 10 | 台湾 | 11 | 中華人民共和国 | 12 | ドイツ |
| 13 | トルコ | 14 | 日本 | 15 | フィリピン |
| 16 | フランス | 17 | ベトナム | 18 | ベネズエラ |

〔語群B〕

- | | | | | | |
|----|----------|----|--------|----|---------|
| 1 | アイゼンハウアー | 2 | アトリー | 3 | ガンジー |
| 4 | ケネディ | 5 | ゴルバチョフ | 6 | 蔣介石 |
| 7 | 周恩来 | 8 | スターリン | 9 | チャーチル |
| 10 | 東条英機 | 11 | ドゴール | 12 | トルーマン |
| 13 | フルシチョフ | 14 | ブレジネフ | 15 | 毛沢東 |
| 16 | レーニン | 17 | レーガン | 18 | ローズヴェルト |

〔Ⅲ〕 つぎの文章を読み、下記の問いに答えよ。

唐末五代の戦乱を終息させた宋朝は、文治主義による君主独裁体制を確立した。⁽¹⁾しかしこれを維持するためには、多くの官僚、皇帝直属の正規軍(禁軍)の確保が必要であり、その維持費は国家財政を圧迫した。さらに遼や西夏に対する防衛費⁽²⁾⁽³⁾や歳賜も大きな財政負担となり、財政危機は深刻なものとなっていった。

⁽⁴⁾このような財政状況を打開するべく抜擢されたのが王安石である。王安石は臨川(現在の江西省撫州市)の出身で、父親の任地の江寧府(現在の南京)などで少年期を過ごした。父親を早くに亡くし、決して裕福とは言えない家の出であった。若くして科挙に第四位で合格したが、大家族を養うために出世には有利だが給料の安い中央での要職を望まず、地方官を望み、現在の浙江省寧波市や江蘇省常州市など主に江南方面で官歴を重ねた。しかし、その才能と清廉さは広く知られるようになり、1067年に皇帝の側近に抜擢された。1069年には副宰相に任命され、⁽⁵⁾「新法」と呼ばれる一連の改革を開始し、翌年には宰相に昇進した。

王安石の新法は、地方官として江南の地方社会と交わってきた経験が裏付けになっていると言われている。そのため、青苗法、募役法、市易法などのように、⁽⁶⁾表層的な財政収支の改善に止まらず、従来の社会関係や経済活動のあり方にまで踏み込んでいったものが少なくない。それ故、当初より新法への反対者も多く、1074年には大干魃の責任を負わされて王安石は失脚してしまった。⁽⁷⁾翌年、一旦は復権するものの、1076年には再び失脚し、以後は政界から退き江寧府で余生を過ごした。

王安石失脚の後も皇帝親政の下で新法の路線は維持された。しかし、1085年に帝位が幼帝に移ると、司馬光ら旧法党の巻き返しが始まり、翌1086年までに青苗法、募役法、市易法など新法のほとんどが廃止されてしまった。奇しくもこの1086年、王安石と司馬光はそろって世を去った。⁽⁸⁾

新法・旧法の争いは、中国世界の南北間の不均衡が顕在化したものとも考えられている。宋以前においては華北に重きが置かれ、北宋の前半期も高官の多くは華北人が占め、制度も華北社会を前提としたものであった。司馬光もまた華北の出身であった。一方、王安石が暮らした江南の経済力はすでに北方を凌駕してお⁽⁹⁾

り、文化的にも先進地域となっていた。このような江南優位の現実に即した社会体制に移行する一つの契機が王安石の新法だったのである。

また新法・旧法の争いは思想の分野にも見られた。王安石が『周礼』を重視し、皇帝による中央集権体制の完成を目指したのに対し、道学と称される宋学の主流派は『春秋』により大義名分論を展開し、郷村における身分秩序を擁護したのである。道学はやがて朱熹により集大成されるが、彼も王安石には否定的であった。しかし朱熹も青苗法⁽¹⁰⁾の効用自体は認めており、青苗法を参考に「社倉」と言われるものを作っている。

問1 下線部(1)について、文治主義の基盤となったのは科挙であるが、宋代に科挙の最終試験として創設された皇帝自らが行う試験のことを何というか。漢字で解答欄に記入せよ。

問2 下線部(2)について、遼の建国者は誰か。その姓名を漢字で解答欄に記入せよ。

問3 下線部(3)について、西夏の建国者は誰か。その姓名を漢字で解答欄に記入せよ。

問4 下線部(4)について、1004年に宋から遼への歳賜の額などを決めた両国間の講和条約を「の盟」と呼ぶが、この空欄に入る語を漢字2字で解答欄に記入せよ。

問5 下線部(5)について、この時に王安石を抜擢した皇帝は誰か。漢字2字で解答欄に記入せよ。

問6 下線部(6)について、下記の問いに答えよ。

- a 青苗法とはどのようなものか。40字以内で簡潔に説明せよ。
- b 新法の諸政策のなかでも青苗法に対する反対意見は特に強く、王安石を支持した官僚からも離反者が出るほどであったが、それはなぜか。その理由を40字以内で簡潔に説明せよ。

問7 下線部(7)について、王安石の執政時に新法に反対した人物として正しくないものをア～オのうちから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 陸九淵 イ 蘇軾 ウ 欧陽脩 エ 秦檜 オ 程顥

問8 下線部(8)について、司馬光に関する記述として正しいものをア～オのうちから二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 王安石の失脚後、旧法党の巻き返しの中で宰相となった。
- イ 宰相として金との和平政策を進めようとしたが、志半ばで死去した。
- ウ 『資治通鑑』はおよそ戦国時代から五代末までを記した編年体の歴史書である。
- エ 『資治通鑑』は中国で最初の編年体の歴史書である。
- オ 巧みな文章により、唐宋八大家の一人に数えられる。

問9 下線部(9)について、宋代の江南の農業に関する記述として正しいものをア～オのうちから全て選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 「湖広熟すれば天下足る」と言われた。
- イ 「墾田」により耕作地が拡大した。
- ウ 日照りに強い占城稻が伝来した。
- エ 農民は相互扶助のために「行」や「作」を結成した。
- オ 宋代の江南の農法について記した書に『齊民要術』がある。

問10 下線部(10)について、朱熹は儒学の經典のうち特に重視したものを四書と呼び、『四書集注』を著したが、四書の組み合わせとして正しいものをア～オのうちから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 『論語』『孟子』『荀子』『礼記』

イ 『論語』『孟子』『荀子』『春秋』

ウ 『論語』『孟子』『春秋』『大学』

エ 『論語』『孟子』『大学』『中庸』

オ 『論語』『孟子』『中庸』『礼記』